草戸稲荷神社

たていし園瓦版

VOL，6
1月1日号

http://www.tateishien.co.jp
info@tateishien.co.jp

本年もよろしくお願い致します。

新しい一年の始まりです。抱負は立てられましたか？

たていし園では、今年もみなさまに「おいしい」と喜んでいただけるお茶をお届けできるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

日頃の感謝としまして、たていし園より少しばかりのお年玉です。

1月末までにお買い上げいただいた方全員に、手作り「つぼしるこ」を2個プレゼントさせていただいております。

一つ一つ手作りの品です。是非お楽しみくださいませ。

中国茶「小沱茶」

小沱茶でお正月の食べ過ぎてついてしまった脂肪を分解、身軽な体で一年のスタート。ということで、今回はたていし園中国茶で大人気の「小沱茶（しょうとうちゃ）」を紹介。

小沱茶は、中国茶の中でも黒茶に分類されます。お聞きになったことがある方もおられると思いますが、「プアール茶」の仲間です。このお茶は、大変脂肪分解力が強く効果も絶大？「空腹時の飲用は、避けたほうがよいです。」と注意書きがあるほどのお茶ですのでかなり期待ができそうですね。ちょっとくせのある香りがしますが、慣れれば、たいした事はないです。

たていし園でも数人が愛飲中。成果は：

まあ、麦茶代わりにお試しください。

・小沱茶30個入り：
1，000円

効果的なお茶の飲み方

年末年始いろいろ忙しく、少し疲れの出やすいこの時期、疲労回復に有効なお茶の飲み方をご紹介。

梅干を湯呑みに入れて箸などで果肉をつぶして、熱いお茶を注ぎます。

梅干に含まれるクエン酸がカテキンを安定させて腸での吸収を良くしてくれます。クエン酸とカテキンのW効果でたまった疲れも回復。疲れたときだけでなく、風邪気味のときや二日酔いのときの特効薬にもなります。

お茶の葉レシピ

胃腸に優しいアツアツ茶粥

米1/2カップと、お茶2と1/2カップを火にかけ、煮立ったら弱火で40分炊きます。お好みで刻んだ茶殻や、梅干、サツマイモを入れても。体を温め、消化促進。食欲がないときや、風邪気味のときにもおすすめです。

茶畑では今：

これからの数カ月間、5月初旬の新茶デビューまでの間お茶の木は寒い季節を乗り越えなくてはなりません。

お茶の樹は寒いのがとても苦手。しかし、もし、暖冬であったとしても安心というわけではありません。お茶にとってはある程度の寒さが必要。四季の移り変わりがはっきりしているほど、高い香りが期待でき、茶の栽培には適しています。まあ、それは天にまかせ、私どもはその旨みを最大限に引き立てることが仕事です。

今年もまた、美味しいお茶を作ることを目指しますのでよろしくお願い致します

草戸稲荷神社

草戸稲荷神社（くさどいなりじんじゃ）は、初詣時には、50万人という広島県第2位の人出を誇る神社です。国道2号線からもその派手な姿ははっきりと目立ちます。

草戸稲荷はもともと隣接する国宝「明王院」の鎮守社であったそうです。本殿はひときわ鮮やかな朱色で大国主命、保食神、宇伽之魂の三神が祀られています。

さりげないお茶の出し方

お茶はおもてなしの心といいます。せっかくよいお茶を用意しても、おもてなしの心を忘れてしまっては真心は伝わりません。

入れ方は必ずしも作法にとらわれる必要はありませんが、一杯のお茶を心を込めて入れることが大切です。お茶を出すときは、親しい間柄なら別ですが、別室で入れてから運ぶのが正式です。その際、茶たくもお忘れなく。

お茶を差し出すときは、お盆はお客様の下座に置き、お盆の上の茶碗は正面を自分のほうに向け、茶碗の正面をゆっくりお客様に差し向けながらお出しすると上品に見えます。そろったところで「どうぞ」の一声も忘れないように。

お茶のことわざ

「茶に酔うたふり」

茶を飲んで酔うはずはない、しかし酒を飲んでいるように酔った振りをし、他の追求をはぐらかすこと。

「茶は眠りを釣る釣針」

寺院の茶は修行中の睡魔退散が目的のひとつだった。茶を飲むのは眠気を払うのに一番よい方法だ。の意味。